

井原市立出部小学校

学校経営目標等	具体的計画	自己評価		学校関係者評価
		達成状況	評価	
1 学力の向上	落ち着いた学習環境（学習規律の徹底）	学びの土台の確立と充実について、「学習規律の共通理解」と「よい姿勢づくり」に取り組み、良い姿勢については約8割の児童が肯定的な回答をした。	B	A
	対話的な学習の充実	対話的な学習について研究を深めた。授業の中で多様な方法で積極的に対話的な学習を行うと共に検証をしながら取組を深めた結果、児童の学習の学びの深まりと広がりが見られた。	A	A
	主体的な学習の充実	自主学習の充実を図り、粘り強く指導を重ねた結果、昨年度末自主学習を「いつもしている」と回答した児童が15%であったが、今年度1月には51%となった。	A	A
2 豊かな心の育成	「思いやり」の心の育成	具体的な思いやりの現れとして「ふわふわ言葉いっぱい」の学校をめざして取り組み、児童に定着した。	B	B
	礼儀（「語前後礼」）の徹底	高学年が大変すばらしい「語前後礼」によるあいさつができ、これが全校に広がった。朝、しっかりとお辞儀ができる児童が増えた。	A	A
	奉仕（「もみじそうじ」）の徹底	学級での指導や「もみじ掃除」の掲示と呼びかけを積極的に行った結果、掃除の時間になるとともに児童の声がなくなり、黙々と時間いっぱい一生懸命掃除をする姿が見られた。	A	A
3 健康・安全と体力の向上	体育科の授業の充実	体育科の授業研究を重ね、市内の小学校に向け公開しながら授業の充実を図り、市内の模範となる授業が展開され授業が充実した。	A	A
	外遊びの充実	各学級で外遊びの充実に向けて取り組み、学級担任が積極的に児童と共に遊ぶことで、児童の外遊びが一層充実した。	A	A
	規則正しい生活習慣	規則正しい生活習慣が乱れやすい長期休業日のために、「元気アップカード」を作成し、朝食・運動・メディアの時間・就寝時間等を毎日チェックさせ、規則正しい生を送ることができる児童が増えた。	B	B
4 地域とともにある学校づくり	家庭・地域への情報発信	ホームページを毎週更新し、必要な情報や子どもたちの様子を積極的に発信した。古井の川通信を地域に届け公民館等で掲示していただいた。	A	A
	地域への貢献	今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のために非常に活動が難しかったが、できることをできる限りの発想で、校庭での全校合唱を行い好評をいただいた。	B	B
	地域へのあいさつ	児童会（委員会）が中心となり、保護者にアンケートとったり、地域への呼びかけのために「お知らせ君」を活用したりして取組を進めた結果、児童の意識が高まった。	B	B